

タテヤマンが伝える

酒田まついの歴史

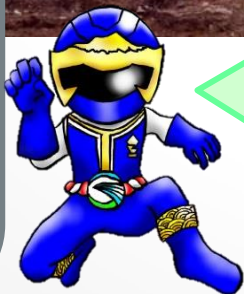


酒田まつりって何のまつりなの？



酒田まつりは1609年酒田のまちの**産土神**（うぶすながみ）である上下日枝神社の祭礼として始まったんだ！その日枝神社の**祭神**が（さいじん）山王**権現**（さんのうごんげん）であることから当時は「山王祭り」と呼ばれていたんだよ！

今から37年前、1976年に酒田のまちに大きな火災が起こったことは知っているかな？そう！「酒田大火」だ！大きな火災により酒田のまちは炎に包まれてしまったんだ。でもわずか3年後の1979年に酒田大火からの復興記念式が行われるとともに大火からの復興が宣言され、その年の山王まつりから酒田市民のまつりにしようと呼称が酒田まつりに変わったんだ！始まりは神様のお祭りだったけど、現代ではそれに加え酒田市民みんなのお祭りなんだよ！！



この写真が酒田大火で燃えつくされてしまった酒田のまち？！

聞きなれない難しい言葉が出てきたから説明していくよ！



※産土神（うぶすながみ）

大地を始め万物を産み出す神。生まれた土地の守護神を指す。生まれる前から死んだあとまで守護する神とされており他所に移住して一生を通じ守護してくれていると信じられている。

※祭神（さいじん）

神社に祀られている神を指す言葉である。神社の祭神には、『古事記』や『日本書紀』などの古典に名がみえる神々のほか、歴代の天皇や歴史上の人物がある。

※権現（ごんげん）

日本の神の神号の一つ。日本の神々を仏教の仏が仮の姿で現れたものとする思想による神号である。「権」という文字は臨時の・仮のという意味で、仏が仮に神の形を取って「現れた」ことを示す。

なるほど。始まりは酒田のまちの神様のお祭りだったわけなのね。それにしても酒田大火はものすごい災害だったのね！そんななか酒田市民に元気を与え酒田市民のまつりにしようと考え「酒田まつり」と名称が変わったわけね！大災害が起こってもお祭りが開かれたことは当時の酒田市民にとってはさぞかし元気を与えてくれたでしょうね！



市民のまつりとなった酒田まつりには、もう山王まつりの名残はなくなってしまったのかしら……。山王まつりのことも知りたくなったわ！



次回は「山王まつり」を教えよう！